

## 分子科学研究所所長招聘会議 公開WEBシンポジウム 『光り輝く博士課程卒業生』

表記の所長招聘会議『光り輝く博士課程卒業生』が2020年6月3日の午後 WEBシンポジウムとして開催されました。毎年、日本学術会議化学委員会、日本化学会戦略企画委員会、および、分子科学研究所の共同主催として、社会と学術に関わる重要な課題について化学の視点から議論を行っています。今年、世界中に緊急事態をもたらしたCOVID19の影響で開催の延期なども検討された中、川合所長の力強い支援のもと、ZoomによるWEB会議として開催することができました。

今回のテーマは、学術会議化学委員会でも議論されてきた検討課題の一つで、世界におけるわが国の研究力低下の問題に対する解決策を考える中、企業で活躍する博士の重要性を検討・再認識し、今後の指針について議論することとしました。6名の講師（ポスター参照）により、様々な視点から博士の存在意義と課題について講演をいただきました。学術界においても今や世界

を席卷している中国の最新事情（中国の2020年改革）を注視しながら、わが国の若手研究者活性化のための新たな施策について考えるとともに、産業界における博士課程卒業生の意義と期待について見解が示されました。また、博士人材に関する様々な角度からの調査データに基づき詳細な解析結果が示されるとともに、研究最前線の若手研究者から、企業での経験について生の声を聞くことができました。さらに、化学系企業での博士の活躍状況と調査結果に基づく提言もいただきました。すべての講演が示唆に富む貴重な内容で、そのあとの総合討論も白熱したものになりました。WEB討論では意思疎通に不十分な点もあったかもしれませんが、一方でWEB会議にはどこにいても参加ができるメリットがあり、例年より多い100名を超える参加者がありました。貴重な講演は、若い学生、研究者にも聞いてもらうのが良いという意見も出され、今回の記録ビデオを

今後活用できればと思っています。最後にZOOM会議の準備、運営でご尽力いただきました岡本裕巳教授・研究総主幹をはじめ担当の方々に心より感謝申し上げます。

(北海道大学 加藤 昌子 記)

分子科学研究所所長招聘会議 公開WEBシンポジウム

光り輝く博士課程卒業生

開催日 2020年6月3日 水  
13:00 - 17:00

13:00	挨拶 川合 典紀 (分子科学研究所所長)
13:05	報告 加藤 昌子 (日本学術会議化学委員会委員長、北海道大学教授)
13:10	趣意説明
13:15	中村 栄一 (東京大学特任教授) 「博士課程の目指すこと・その評価」 中国の2020年改革に学ぶこと
13:45	橋本 邦仁 (理研・材料研究開発センター 特任教授) 「若手研究者の活性化に向けて：CSTIの働きを中心」
14:15	小林 寛光 (国産タネホールディングス 代表取締役) 「博士課程卒業生への期待」
14:45	休憩
15:00	磯谷 佳介 (分子科学研究所 学術総務課長 (ポスター参照)) 「データからみる日本の博士人材の現状と課題」
15:30	基本 哲郎 (分子科学研究所 特任教授) 「企業での経験と今の自分」
16:00	長瀬 公一 (分子科学研究所 特任教授) 「化学分野での博士の活躍状況」 博士課程で学んで良かったこと
16:30	総合討論

主催：日本学術会議化学委員会、分子科学研究所、分子科学研究所附属分子科学センター、分子科学研究所附属分子科学センター、分子科学研究所附属分子科学センター、分子科学研究所附属分子科学センター  
共催：分子科学研究所、分子科学研究所附属分子科学センター、分子科学研究所附属分子科学センター、分子科学研究所附属分子科学センター  
お問い合わせ先：事務局 (分子科学研究所) IMS 分子科学研究所 分子科学センター 事務局  
http://www.ims.uio.ac.jp/research/sem/2020/06/03\_1637.html

## 共同利用推進室立ち上げ

2020年5月1日より共同利用推進室が設置され、中村が室長を拝命しました。今後、各施設のスタッフ、戦略室や共同利用係の方々とともに、分子研の共同利用を使い良いものにして参ります。皆様のご協力無しには出来ない事ですが、私も精一杯尽力致しますので、何卒よろしくお願いたします。言うまでもなく、分子研は大学共同

利用機関であり、共同利用研究の推進が最大のミッションです。研究系、附属施設のこれまでの大きな努力により、分子研は大きな役割を果たしてきました。一方で、若手人口の減少や研究予算の削減などもあり、分子研の期待される役割も変わりつつあります。汎用・先端にかかわらず、すぐに稼働できるいわゆる「温かい装置」を提供するこ

とが求められています。

分子研の附属施設として、極端紫外光研究施設 (UVSOR)、機器センター、装置開発室、加えて岡崎共通研究施設として計算科学研究センターが存在します。ユーザーの利便のため各施設には独自の共同利用の仕組みやサービス、ホームページが出来ており共同利用の一助になっています。しかしながら網

羅的になっているわけではなく、外部利用者からは、どのような装置があって、どこに尋ねれば利用可能なのが分かりにくくなっています。共同利用推進室は、各施設の利用のルールや成果報告などを一元化し、ホームページはうまくリンクで繋ぐなどして、ユーザーが施設を越えて利用しやすくすることを目標としています。共同利用推進室のメーリングリスト (jrpo@ims.ac.jp) も作成しました。外部の方向けに分子研の施設利用や共同利用に関する相談窓口的な役割を果たしていきます。

## NOUSについて

2020年度から共同利用申請が、機構本部のNOUS (自然科学共同利用・共同研究統括システム) <https://www.nins.jp/site/nous/> に変更になっています。マニュアルが有りますので (NOUS申請マニュアル: <https://www.ims.ac.jp/guide/webnous.html>)、ご一読ください。分子研共同利用案内 ([\[www.ims.ac.jp/guide/\]\(http://www.ims.ac.jp/guide/\)\) からリンクがありますので、従前通りこちらを紹介して頂いて結構です。](https://</a></p>
</div>
<div data-bbox=)

## 共同利用控え室

以前から進んでいた話ですが、計算センターを除く分子研附属三施設の共同利用者控室が一カ所に集約されました。外部ユーザーの利便に加え、施設利用者が一部屋に集まることによって、異分野交流が深まる可能性など、情報ハブとしての機能が期待されます。学問が学際的になる一方で、専門が尖鋭化するこの時世では、人と人との連携が要となります。利用者にとって快適な場所となるよう、設備面でも出来る範囲で良い形にしていきます。附属三施設の事務室も共通化しました。何卒よろしくお願いたします。この仕組みにより、どの施設の利用者でも共同利用事務室に一度は足を運び事になります。ゆくゆくは、IDカードを共同利用事務室で各人に配布するようなシステムにするなど、新たな取り組みを推進します。長期的には、IDカードに紐

付けた番号によって、電子課題申請、報告書提出、予約、旅費申請などが行えるようなシステムの導入を目指します。

## 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策

COVID-19感染対策は、当面避けて通れない問題です。具体的な施策は別にご案内しますが、共同利用推進室としても、その役割の一翼を果たしていきたいと思えます。もちろん、全所的な取り組みですが、マニュアルやシステム作りなど共通の指針作成のために尽力していきます。共同利用控え室や事務室に足を運ぶ際に健康チェックをお願いする事で、感染対策の取り組みの一助になることも期待しています。

すでに、共同利用に関わるシステムが日々更新されていると思えます。亀の歩みですが、1歩1歩進めていきたいと思えます。何卒よろしくお願いたします。

(中村 敏和 記)

NINS 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 [FAQ] お問い合わせ 文字サイズ・背景色変更

NOUS  
NINS Open Use System

ログイン

初めてご利用の方へ

NOUSをご利用いただくためには、必ずユーザーアカウントの登録が必要となります。  
[新規登録](#) から、必要事項をご記入の上、送信してください。  
 登録が承認されれば、アカウントが作成され、システムからその旨連絡メールが送付されます。  
 通常数日程度お待ち頂くこととなりますので、登録の申請は早めをお願いします。

また、新規登録から利用開始に関連した「よくあるご質問」について、FAQ形式でまとめました。  
 もしご不明点等ございましたら、まずはこちらをご一読いただきますと幸甚です。

新規登録はこちら

FAQはこちら

システムからのお知らせ

2020年6月5日更新 NOUSシステム臨時メンテナンスのため、2020年6月5日 17時00分から20分程度システムを停止いたします。

2019年12月11日更新 [よくあるご質問 \(FAQ\) のページを作成しました。](#)

2018年10月22日更新 [自然科学共同利用・共同研究統括システム \(NOUS\) のホームページをリニューアルしました。](#)

自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)とは？

Language

NOUSサイト トップページ